

令和4年度

日向東白杵広域連合
歳入歳出決算審査意見書

日向東白杵広域連合監査委員

発日東広監第25号

令和5年10月23日

日向東臼杵広域連合

広域連合長 十屋 幸平 様

日向東臼杵広域連合

監査委員 門 脇 功 郎

監査委員 山 本 文 男

令和4年度日向東臼杵広域連合歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第292条の規定により準用する同法第233条第2項の規定に基づき、審査に付された令和4年度歳入歳出決算書、決算附属書類及び証書類を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

目 次

第1	審査の対象	1 頁
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
第5	決算の概要	1
1	歳入	2
	第1款 分担金及び負担金	2
	第2款 使用料及び手数料	3
	第3款 国庫支出金	3
	第4款 県支出金	3
	第5款 財産収入	4
	第6款 寄附金	4
	第7款 繰入金	4
	第8款 繰越金	5
	第9款 諸収入	5
	第10款 組合債	5
2	歳出	6
	第1款 議会費	6
	第2款 総務費	7
	第3款 衛生費	7
	第4款 公債費	8
	第5款 予備費	8
第6	実質収支に関する調書	9
第7	財産に関する調書	9
1	公有財産	9
2	物 品	9
3	基 金	9
	むすび	10
	決算審査資料	11

凡 例

- 1 文中及び表中の円単位以外で表示した金額及び各比率は、表示単位未満で四捨五入している。また、合計と内訳を一致させるため調整を行っている。
- 2 「ポイント」は、前年度の%との比較である。
- 3 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。
 - 「0.0」 該当数値はあるが、単位未満のもの
 - 「△」 マイナス
 - 「－」 該当数値のないもの
 - 「皆増」 前年度に該当数値がなく、全額増加したもの
 - 「皆減」 当年度に該当数値がなく、全額減少したもの

令和4年度 日向東臼杵広域連合歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和4年度日向東臼杵広域連合歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和5年9月1日から10月20日まで

第3 審査の方法

- 1 審査に当たっては、審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類が地方自治法等の関係法令の規定に基づいて作成されているか、計数は正確で適正に処理されているかについて確認するとともに、予算は法令等に基づいて適切に執行されているかなど、予算の執行状況とその事務処理の適否等について審査した。
- 2 審査は、関係諸帳簿と証拠書類等との照合のほか、関係職員から説明を聴取するなどして実施した。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数においても正確で、令和4年度における歳入歳出予算の執行状況は、おおむね適正であると認められた。

第5 決算の概要

当年度の決算額は、

歳	入	624,332,189 円
歳	出	609,751,751 円
歳入歳出差引	残額	14,580,438 円
翌年度へ繰り越すべき	財源	0 円
実質収支	額	14,580,438 円

であり、前年度に比べ歳入は 5,341,678円（0.8%）、歳出は 5,891,962円（1.0%）それぞれ減少している。

1 歳入

歳入の決算額は、

予 算 現 額	618,200,000 円
調 定 額	624,332,189 円
収 入 済 額	624,332,189 円
収 入 未 済 額	0 円

となっている。

収入済額の予算現額に対する比率は 101.0%で、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を款別にみると、次のとおりである。

表 1 (単位：円・%)

款 別	令 和 4 年 度		令 和 3 年 度		比 較 増 減	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A)-(B)	増 減 率
分担金及び負担金	565,673,388	90.6	550,473,994	87.4	15,199,394	2.8
使用料及び手数料	34,908,150	5.6	30,509,500	4.8	4,398,650	14.4
国庫支出金	0	—	0	—	0	—
県支出金	0	—	0	—	0	—
財産収入	23,620	0.0	49,115	0.0	△ 25,495	△ 51.9
寄附金	0	—	0	—	0	—
繰入金	23,500,000	3.8	48,373,000	7.7	△ 24,873,000	△ 51.4
繰越金	0	—	0	—	0	—
諸収入	227,031	0.0	268,258	0.1	△ 41,227	△ 15.4
組合債	0	—	0	—	0	—
合 計	624,332,189	100.0	629,673,867	100.0	△ 5,341,678	△ 0.8

第1款 分担金及び負担金

予 算 現 額	565,868,000 円
調 定 額	565,673,388 円
収 入 済 額	565,673,388 円

収入済額の予算現額に対する比率は 100.0%で、調定額に対する比率も 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 2 (単位：円・%)

項 別	令 和 4 年 度 金 額 (A)	令 和 3 年 度 金 額 (B)	比 較 増 減	
			増 減 額 (A-B)	増 減 率
分 担 金	515,394,000	497,929,000	17,465,000	3.5
負 担 金	50,279,388	52,544,994	△ 2,265,606	△ 4.3
合 計	565,673,388	550,473,994	15,199,394	2.8

1 分担金

前年度に比べ 17,465,000円 (3.5%) 増加している。これは主に、清掃分担金 (ごみ処理施設) 3,161,000円の減少はあるものの、一般管理分担金 5,050,000円及び清掃分担金 (最終処分場) 15,499,000円の増加によるものである。

2 負担金

前年度に比べ 2,265,606円 (4.3%) 減少している。これは主に、清掃費負担金 (ごみ処理施設) 2,172,677円の減少によるものである。

第2款 使用料及び手数料

予 算 現 額	28,701,000 円
調 定 額	34,908,150 円
収 入 済 額	34,908,150 円

収入済額の予算現額に対する比率は 121.6%で、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 3

(単位：円・%)

項 別	令和4年度 金額 (A)	令和3年度 金額 (B)	比較増減	
			増減額(A-B)	増減率
使 用 料	34,908,000	30,509,500	4,398,500	14.4
手 数 料	150	0	150	皆増
合 計	34,908,150	30,509,500	4,398,650	14.4

1 使用料

前年度に比べ 4,398,500円 (14.4%) 増加している。これは、保健衛生使用料 (斎場使用料) の増加によるものである。

2 手数料

前年度に比べ 150円皆増している。これは、公文書開示による複写手数料収入である。

第3款 国庫支出金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に国庫支出金の収入はない。

第4款 県支出金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に県支出金の収入はない。

第5款 財産収入

予 算 現 額	21,000 円
調 定 額	23,620 円
収 入 済 額	23,620 円

収入済額の予算現額に対する比率は 112.5%、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 4

(単位：円・%)

項 別	令和4年度 金額 (A)	令和3年度 金額 (B)	比較増減	
			増減額(A-B)	増減率
財産運用収入	23,620	49,115	△ 25,495	△ 51.9
財産売払収入	0	0	0	—
合 計	23,620	49,115	△ 25,495	△ 51.9

1 財産運用収入

前年度に比べ 25,495円 (51.9%) 減少している。これは、利子及び配当金の減少によるものである。

2 財産売払収入

前年度と同様に財産売払収入はない。

第6款 寄附金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に寄附金の収入はない。

第7款 繰入金

予 算 現 額	23,501,000 円
調 定 額	23,500,000 円
収 入 済 額	23,500,000 円

収入済額の予算現額に対する比率は 100.0%、調定額に対する比率も 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 5

(単位：円・%)

項 別	令和4年度 金額 (A)	令和3年度 金額 (B)	比較増減	
			増減額(A-B)	増減率
基金繰入金	23,500,000	48,373,000	△ 24,873,000	△ 51.4

1 基金繰入金

前年度に比べ 24,873,000円 (51.4%) 減少している。これは主に、一般廃棄物最終処分場施設整備基金繰入金 5,300,000円の増加はあるものの、火葬場施設整備基金繰入金 30,173,000円の減少によるものである。

第8款 繰越金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に繰越金の収入はない。

第9款 諸収入

予 算 現 額	104,000 円
調 定 額	227,031 円
収 入 済 額	227,031 円

収入済額の予算現額に対する比率は 218.3%、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 6

(単位：円・%)

項 別	令和4年度 金額 (A)	令和3年度 金額 (B)	比較増減	
			増減額(A-B)	増減率
預 金 利 子	10	10	0	—
雑 入	227,021	268,248	△ 41,227	△ 15.4
合 計	227,031	268,258	△ 41,227	△ 15.4

1 預金利子

前年度と同額である。

2 雑入

前年度に比べ 41,227円 (15.4%) 減少している。これは主に、自動販売機電気料 24,370円の増加はあるものの、鉄骨廃材処分費 63,100円の減少によるものである。

第10款 組合債

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に組合債の収入はない。

2 歳出

歳出の決算額は、

予 算 現 額	618,200,000 円
支 出 済 額	609,751,751 円
翌年度繰越額	0 円
不 用 額	8,448,249 円

となっている。

予算執行率は、98.6%前年度（98.0%）である。

支出済額を款別にみると、次のとおりである。

表 7

(単位：円・%)

款 別	令 和 4 年 度		令 和 3 年 度		比 較 増 減	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A)-(B)	増 減 率
議 会 費	677,831	0.1	670,913	0.1	6,918	1.0
総 務 費	33,742,199	5.5	31,026,059	5.0	2,716,140	8.8
衛 生 費	504,238,591	82.7	509,126,263	82.7	△ 4,887,672	△ 1.0
公 債 費	71,093,130	11.7	74,820,478	12.2	△ 3,727,348	△ 5.0
予 備 費	0	—	0	—	0	—
合 計	609,751,751	100.0	615,643,713	100.0	△ 5,891,962	△ 1.0

第 1 款 議会費

予 算 現 額	1,073,000 円
支 出 済 額	677,831 円
不 用 額	395,169 円

予算執行率は、63.2%（前年度 65.6%）である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表 8

(単位：円・%)

項 別	令 和 4 年 度 金 額 (A)	令 和 3 年 度 金 額 (B)	比 較 増 減	
			増 減 額 (A-B)	増 減 率
議 会 費	677,831	670,913	6,918	1.0

前年度に比べ 6,918円（1.0%）増加している。これは主に、委託料 6,600円、旅費 2,776円及び役務費 2,827円の減少はあるものの、報酬 19,200円の増加によるものである。

不用額 395,169円は、執行残によるものである。

第2款 総務費

予 算 現 額	34,507,000 円
支 出 済 額	33,742,199 円
不 用 額	764,801 円

予算執行率は、97.8%（前年度 89.8%）である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表 9 (単位：円・%)

項 別	令和4年度 金額 (A)	令和3年度 金額 (B)	比較増減	
			増減額(A-B)	増減率
総務管理費	33,583,691	30,876,330	2,707,361	8.8
選挙費	102,327	94,706	7,621	8.0
監査委員費	56,181	55,023	1,158	2.1
合 計	33,742,199	31,026,059	2,716,140	8.8

1 総務管理費

前年度に比べ 2,707,361円 (8.8%) 増加している。これは主に、使用料及び賃借料 222,625円の減少はあるものの、給料 496,791円、共済費 122,118円、委託料 1,762,720円及び工事請負費 577,500円の増加によるものである。

2 選挙費

前年度に比べ 7,621円 (8.0%) 増加している。これは主に、報酬の増加である。

3 監査委員費

前年度に比べ 1,158円 (2.1%) 増加している。これは主に、旅費の増加である。

不用額 764,801円は、主に総務管理費 703,309円で、執行残によるものである。

第3款 衛生費

予 算 現 額	510,464,000 円
支 出 済 額	504,238,591 円
不 用 額	6,225,409 円

予算執行率は、98.8%（前年度 98.6%）である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表 10 (単位：円・%)

項 別	令和4年度 金額 (A)	令和3年度 金額 (B)	比較増減	
			増減額(A-B)	増減率
保健衛生費	89,712,727	121,195,374	△ 31,482,647	△ 26.0
清掃費	414,525,864	387,930,889	26,594,975	6.9
合 計	504,238,591	509,126,263	△ 4,887,672	△ 1.0

1 保健衛生費

前年度に比べ 31,482,647円 (26.0%) 減少している。これは主に、需用費 3,780,581円及び積立金 20,000,000円の増加はあるものの、工事請負費 55,196,000円の減少によるものである。

2 清掃費

前年度に比べ 26,594,975円 (6.9%) 増加している。これは主に、給料 690,384円及び原材料費 1,383,140円の減少はあるものの、需用費 10,008,913円、使用料及び賃借料 328,420円、積立金 15,760,000円及び工事請負費 2,363,528円の増加によるものである。

不用額 6,225,409円は、保健衛生費 1,508,273円及び清掃費 4,717,136円であり、いずれも執行残によるものである。

第4款 公債費

予 算 現 額	71,156,000 円
支 出 済 額	71,093,130 円
不 用 額	62,870 円

予算執行率は、99.9% (前年度 99.7%) である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表 11 (単位：円・%)

項 別	令和4年度 金額 (A)	令和3年度 金額 (B)	比較増減	
			増減額 (A-B)	増減率
公 債 費	71,093,130	74,820,478	△ 3,727,348	△ 5.0

前年度に比べ 3,727,348円 (5.0%) 減少している。これは、今年度中におけるごみ処理施設に係る償還金のうち、元金 3,461,968円及び利子 265,380円の減少によるものである。

当年度における借入金 (元金) の状況は、次のとおりである。

表 12 (単位：千円)

区 分	令和3年度末 現在高 (A)	令和4年度 発行高 (B)	令和4年度 償還額 (C)	差引現在高 (A+B-C)
ごみ処理施設	115,934	0	70,783	45,151

第5款 予備費

予 算 額	1,000,000 円
充 用 額	0 円
予 算 現 額	1,000,000 円
不 用 額	1,000,000 円

当年度も、前年度と同様に予備費の充用はない。

第6 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書の計数は、正確であると認められ、その額は 14,580,000円で前年度 14,030,000円に比べ 550,000円 (3.9%) 増加している。

第7 財産に関する調書

1 公有財産

公有財産の当年度末現在高は、土地 27,438㎡、建物 6,101㎡で前年度と変動はない。

2 物 品

物品の当年度末の現在高は、貨物自動車 が 2台であり、前年度と変動はない。

3 基 金

基金の状況は、次のとおりである。

表 13

(単位：千円)

区 分	前年度末現在高 (A)	当年度中増減高 (B)	当年度末現在高 (A+B)
財政調整基金	34,774	4,876	39,650
一般廃棄物最終処分場施設整備基金	13,810	3,658	17,468
火葬場施設整備基金	49,532	18,739	68,271
ごみ処理施設整備基金	332,523	17	332,540
合 計	430,639	27,290	457,929

む す び

当年度の決算額は、歳入総額 6億2,433万円、歳出総額 6億975万円で、前年度に比べ歳入で 534万円（0.8%）、歳出では 589万円（1.0%）それぞれ減少している。

その結果、実質収支額は 1,458万円となっている。

各施設の管理運営状況をみると、まず、東郷霊苑については、当年度の使用状況が 1,496件で、前年度より 185件（14.1%）増加している。その内訳は、火葬件数が 178件、待合室等の使用件数が 7件といずれも増加している。

また、施設の維持管理については、第3次日向地区斎場東郷霊苑管理運営中期計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）に基づいて、東郷霊苑火葬炉設備補修工事並びに火葬炉前室操作盤及び自動扉の修繕などが実施されている。

引き続き、同中期計画に基づき、安全かつ安定した東郷霊苑施設の管理運営に努められたい。

次に、清掃センターについては、ごみの焼却量が 23,132トンとなっており、台風第14号による災害ごみ等の増加（311.6トン）があったものの、前年度より 74トン（0.3%）減少している。一方、令和2年3月改定の一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（計画期間：令和2年度～令和6年度）においては1人1日当たりのごみ排出量を、令和6年度に 856gまで削減することが排出抑制目標となっている中、令和4年度の実績では 937gとなっており、ごみの排出抑制につながる一層の施策推進が求められる。

施設の設備機器類の整備については、清掃センター長寿命化計画に基づき、1号焼却炉耐火物改修工事及び2号焼却炉助燃バーナ更新工事等が実施され、運営管理が適切かつ効率的に行われている。

また、焼却処理により発生する排ガス等については、各汚染物質の分析検査結果が基準値内の適正な数値を保持しており、周辺環境の保全に沿った管理運営がなされている。

次に、次期最終処分場建設候補地については、用地選定検討委員会において、令和3年度に選定した三次候補地3か所から1か所に絞り込み、正副広域連合長会議に報告し決定されている。また、新たに建設検討委員会を発足させ、当該建設候補地における次期広域最終処分場基本構想が策定されている。

今後とも、最終処分場施設整備方針及び次期広域最終処分場基本構想に基づき、地域住民説明会の開催や最終処分場周辺的生活環境影響調査等を実施するなど、円滑な事業推進に努められたい。

以上のとおり、各施設の管理運営については、それぞれの施設整備計画に基づき、適正に執行され、効率的な共同処理が行われている。

そうした中、清掃センターの施設及び機器類については、今後、長寿命化計画の見直しとともに、基幹的設備改良工事を実施することにより施設の延命化を図るなど、多額の財政負担を伴う事業もあることから、これに対応する財源の確保が重要となってくる。

今後とも、第5次日向東臼杵広域連合広域計画、施設の長寿命化計画等に基づき、安全で安定した施設の管理・運営と長期的展望を見据えた経営に努められたい。

令和4年度

決算審査資料

資料1 人口の推移

区 分	令和5年3月末日現在		令和4年3月末日現在		令和3年3月末日現在	
	人口(人)	前年度比(%)	人口(人)	前年度比(%)	人口(人)	前年度比(%)
日向市	57,884	△ 1.0	58,454	△ 1.1	59,115	△ 0.9
門川町	16,811	△ 1.1	16,995	△ 1.7	17,285	△ 0.8
美郷町	4,429	△ 3.4	4,586	△ 3.2	4,739	0.7
諸塚村	1,360	△ 2.2	1,391	△ 2.8	1,431	△ 2.4
椎葉村	2,304	△ 2.8	2,371	△ 2.3	2,427	△ 3.1
合 計	82,788	△ 1.2	83,797	△ 1.4	84,997	△ 0.9

資料2 ごみ焼却量の推移

区 分	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	量(t)	前年度比(%)	量(t)	前年度比(%)	量(t)	前年度比(%)
日向市	16,709	0.1	16,689	0.6	16,592	△ 1.8
門川町	4,882	△ 3.8	5,074	△ 1.3	5,139	△ 1.3
美郷町	972	10.8	877	△ 0.5	881	△ 1.9
諸塚村	203	6.3	191	△ 1.5	194	1.6
椎葉村	366	△ 2.4	375	△ 2.1	383	2.4
合 計	23,132	△ 0.3	23,206	0.1	23,189	△ 1.6

資料3 日向地区斎場東郷霊苑使用件数の推移

区 分	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	件	前年度比(%)	件	前年度比(%)	件	前年度比(%)
日向市	971 (12)	19.0	816 (6)	△ 1.3	827 (17)	8.7
門川町	275 (0)	3.0	267 (2)	0.8	265 (2)	23.8
美郷町	144 (3)	△ 1.4	146 (2)	8.1	135 (2)	8.9
諸塚村	32 (2)	28.0	25 (0)	8.7	23 (0)	△ 30.3
椎葉村	39 (0)	30.0	30 (0)	△ 16.7	36 (0)	△ 7.7
その他	35 (0)	29.6	27 (0)	△ 6.9	29 (0)	△ 6.5
合 計	1,496 (17)	14.1	1,311 (10)	△ 0.3	1,315 (21)	9.4

※ 使用件数のうち待合室及び安置室の使用件数は、括弧書きで再掲している。

資料4 焼却量等の推移

区 分	令和4年度		令和3年度		令和2年度		
	量	前年度比(%)	量	前年度比(%)	量	前年度比(%)	
ごみ焼却量	t	23,132	△ 0.3	23,206	0.1	23,189	△ 1.6
電力用量	kwh	1,836,929	1.2	1,815,210	3.5	1,753,855	1.2
A重油使用量	kℓ	12.0	20.0	10.0	△ 37.5	16.0	6.7
灰搬出量	t	2,472	△ 1.1	2,499	△ 1.4	2,534	4.7

資料5 ダイオキシン類等測定分析結果の推移（清掃センター）

測定項目	単位	基準値	令和4年度		令和3年度		令和2年度		
			1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	
ダイオキシン類	排ガス	ng-TEQ/m ³ N	5	0.026	0.019	0.058	0.190	0.031	0.055
	飛灰	ng-TEQ/g	3	0.079	0.120	0.140	0.150	0.300	0.180
	焼却灰	ng-TEQ/g	3	0.00670	0.00055	0.000064	0.00130	0.00018	0.00130
一酸化炭素	ppm	100	3	2	2	2	3	2	
ばいじん	g/m ³ N	0.15	0.032	0.006	0.005	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
塩化水素	mg/m ³ N	700	160	140	250	230	280	73	
硫黄酸化物	m ³ N/h	50~60	0.80	0.61	0.91	0.45	1.50	0.65	

※ ダイオキシン類の数値は毒性等量

資料6 ダイオキシン類等測定分析結果の推移（日向地区斎場東郷霊苑）

測定項目	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度
ダイオキシン類(排ガス)	ng-TEQ/m ³ N	3.80	0.98	7.70
一酸化炭素	ppm	3.00	2.00	22.00
ばいじん	g/m ³ N	0.005未満	0.005未満	0.005未満
塩化水素	mg/m ³ N	5.00未満	5.00未満	5.00未満
硫黄酸化物	m ³ N/h	0.026未満	0.031	0.015未満

※ ダイオキシン類の数値は毒性等量

資料7 事業別分担金の内訳

(単位:千円・%)

区分	一般管理 分担金	斎場施設 運営管理費	斎場施設 建設費	最終処分場 建設費	ごみ処理施設 運営管理費	ごみ処理施設 建設費	合計	構成比
日向市	17,214	15,140	19,080	—	173,973	53,932	279,339	54.2
門川町	8,670	5,612	6,470	20,644	64,008	19,006	124,410	24.1
美郷町	4,115	3,490	2,681	6,906	23,105	6,326	46,623	9.0
諸塚村	3,161	1,666	1,700	3,346	16,607	4,181	30,661	6.0
椎葉村	3,352	1,753	1,669	4,445	18,367	4,775	34,361	6.7
合計	36,512	27,661	31,600	35,341	296,060	88,220	515,394	100.0

資料8 事業別分担金の繰越額内訳

(単位:円・%)

区分	一般管理 分担金	斎場施設 運営管理費	斎場施設 建設費	最終処分場 建設費	ごみ処理施設 運営管理費	ごみ処理施設 建設費	合計	構成比
日向市	948,345	4,209,171	30,197	—	979,850	62,230	6,229,793	42.7
門川町	564,527	1,560,116	10,021	1,686,383	360,778	21,630	4,203,455	28.8
美郷町	273,709	970,266	4,003	564,361	130,070	7,511	1,949,920	13.4
諸塚村	193,312	462,747	3,150	273,083	93,435	5,313	1,031,040	7.1
椎葉村	204,357	486,844	2,629	362,687	103,548	6,165	1,166,230	8.0
合計	2,184,250	7,689,144	50,000	2,886,514	1,667,681	102,849	14,580,438	100.0